

ビオトープ公園

桑袋ビオトープ公園

ニュースレター



冬のお泊まり会



自分の寝床は自分で準備

園内に宿泊し、
普段は体験できない
夜や早朝の自然を体験しよう！



雪見の散歩



夜の生きもの観察

日時 2月7日(土)～8日(日) 午後5:30～翌午前9:00
対象 小学3年生～小学6年生
定員 20名(抽選) / 参加費 500円(食費等)
申込切 1月27日(火) 必着
申込方法 往復ハガキまたはFAXに参加希望者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・FAX番号及び「ビオトープ公園冬のお泊まり会参加希望」と明記の上、当園へお送りください。窓口でも直接お申込みいただけます。

4コマ劇場



ビオトープ探検ゲーム

自然に関するゲームやクイズをしながら、園内を探検するよ。



2月1日(日)

カモのパズルづくり

冬にやってくる渡り鳥のカモを観察して、カモ型のパズルにしよう。



2月15日(日) 作品例

野草のミニカゴづくり

自然に乾燥した野草で、小さなカゴをつくるよ。



2月22日(日) 作品例

いずれも 時間 午後2:00～3:00 (午後1:45から受付開始)
対象 どなたでも (就学前の子どもは保護者の参加が必要)
定員 20名(先着順) 参加費 無料

自然のあそび屋台

自然の見どころや遊びを、園内に出す屋台で紹介するよ。

2月11日(水祝)

時間 午後2:00～2:30
対象 どなたでも / 参加費 無料
場所 園内ため池観察デッキ横 ※荒天の場合、外での活動を中止する場合があります。



公園のみどころ紹介

落ち葉の役割

落ち葉の秘密

この時期の園内はあちこちに落ち葉が積もっていて、ちょっとした山の中の様な雰囲気です。この落ち葉、積もったままにしておくことにはいくつかの理由があります。

- ① 生き物の隠れ場所になること。冬の間、落ち葉の下は冬越しをする虫などの絶好の隠れ場所になります。
- ② 植物のための栄養分になること。地面に落ちた葉っぱは、土の生き物に食べられて細かくなっていき、最後は土と混ざることによって植物が育つための栄養たっぷりの土へと変わります。
- ③ 落ち葉を踏んで歩くのがとても気持ちいいこと。落ち葉がたくさんの場所を歩くと、シャキ、ショキ…と、とても気持ちのいい音がします。

体験してみませんか？

こうした理由から、桑袋ビオトープ公園では落ち葉をなるべくそのまま残すような管理をしています。落ち葉に興味の出た方は、是非解説員に声をかけてください。普段は入ることができない、園内で一番落ち葉の積もっているサンクチュアリの中をご案内しますよ！

(解説員 伊藤)



イベントレポート

11月16日(日)

身近な植物でハンカチを染めよう

外来種のセイタカアワダチソウを染液にして、ハンカチを染めました。模様づけしたハンカチは黄色に染まりましたが、色を定着させる媒染剤の種類で違った風合いの色が出ました。媒染剤につけたハンカチの色が変わると、「すごい！」という驚きの声が聞かれました。

このイベントでは排除した外来種をただ捨てるのではなく、楽しみながら利用できるということを知ってもらえました。

(解説員 井坂)



ボランティア日記

12月13日(土)

堆肥の袋詰め

ため池の水路周辺の草刈りと、ヤナギの剪定をしました。私は皆さんが刈り取った草を裁断して堆肥場に入れるとともに、既に堆肥になっているものを土嚢袋に詰めました。今年も沢山活動をして大量の堆肥が出来たので、裁断しながらの土嚢袋詰めは激しい運動になりました。気温は一桁でしたが、すぐに上着を脱ぎました。寒い日こそ外で身体を動かそう！と思いました。

(3期生 三好)



出来た堆肥をふるってから袋詰め

ご利用案内

開園時間

2月~10月 9:00~17:00

11月~1月 9:00~16:30

休園日

月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日~翌1月4日)

入園料

無料

駐車場

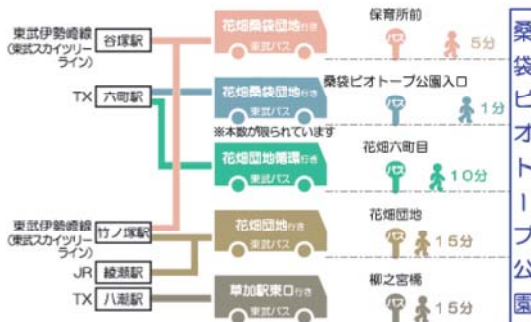
無料(11台)

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分。



TEL:03-3884-1021 FAX:03-3884-1041
HP: <http://www.1.adachi.ne.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@adachi.ne.jp



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけません。
※ご利用には通信料がかかります。